

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								4.0
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		4.0	0.15	-	-			4.0
1.1 騒音		5.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル	各教室日本建築学会等級1級相当	5.0	1.00	-	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.5	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	-	-			
2 界壁遮音性能	各教室日本建築学会界壁等級1級相当	4.0	0.30	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	各教室日本建築学会界壁等級1級相当	4.0	0.20	-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		3.4	0.35	-	-			3.4
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	-			
1 室温	熱負荷計算を元に空調機器を選定	4.0	0.60	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		2.0	0.40	-	-			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式	床吹き出し空調	4.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.8	0.25	-	-			3.8
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	庇を設置してグレアを制御	4.0	1.00	-	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御	作業単位ごとの制御、リモコン制御、自動照明制御	5.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.9	0.25	-	-			3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	原則F 品を採用	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視	CO ₂ 濃度を中央監視	5.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	館内全館禁煙	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.9
1 機能性		3.8	0.40	-	-			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	-	-			
3 バリアフリー計画	建築的移動など円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.5	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		2.0	0.50	-	-			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画	内装計画の段階で様々な検討を行っている	5.0	0.50	-	-			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内装・外装両者に配慮	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	PS・機械室に十分なスペースを確保	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.8	0.31	-	-			3.8
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
1 耐震性	保有水平耐力は基準法の1.25倍を確保している	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	コンクリート強度Fc30N以上・等級3相当を確保している	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要内装仕上げ材の更新間隔が20年以上を満たしている	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房の多湿箇所ステンレスダクト	4.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・雑排水・汚水配管が該当	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	AHU,EHPHは系統を区分し、個別空調も可能な計画	3.6	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備	高層棟・低層棟で系統を区分し、井水・中水も利用可能な計画	5.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備		5.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法	耐震Aクラス	1.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.1 空間のゆとり				4.1	0.29	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高4m以上を確保	4.6	0.31	-	-	-
	2	空間の形状・自由さ	耐震壁を限定して配置	5.0	0.60	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.40	3.0	-	-
3.3 設備の更新性				4.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性	積載荷重2900N/m ² ~ 3500N/m ² としている	3.8	0.38	-	-	-
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
	3	電気配線の更新性	予備スリーブによる将来対応	4.0	0.17	-	-	-
	4	通信配線の更新性	縦幹線はEPS内で更新可。天井内幹線用にCRを設置	5.0	0.11	-	-	-
	5	通信配線の更新性	縦幹線はEPS内で更新可。天井内幹線用にCRを設置	5.0	0.11	-	-	-
	6	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
バックアップスペース				4.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	4.7
1 生物環境の保全と創出				5.0	0.30	-	-	5.0
2 まちなみ・景観への配慮				5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	4.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制				5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				4.5	0.20	-	-	4.5
2.1 自然エネルギーの直接利用				4.0	0.50	-	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用				5.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化				4.8	0.30	-	-	4.8
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)				4.8	-	-	-	-
集合住宅の評価				9.0	-	-	-	-
4 効率的運用				4.0	0.20	-	-	4.0
4.1 モニタリング				4.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				4.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護				3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.6	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				4.0	0.67	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.63	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				4.0	0.05	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.22	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮				3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
外に漏れる光を適切に抑制。広告物照明は設置していない				5.0	0.70	-	-	-
				3.0	0.30	-	-	-